

2024 年度（7 月～2025/6 月）事業報告（案）

☆印=隔年実施事業 ()=定款第 4 条

公 1 青少年の読書活動を振興するための活動の普及及び啓発事業

ア 図書の選定

1. 学校図書館向き図書の選定……………【選定部】…(1)

小・中・高等学校図書館向き図書を選定する「図書選定会議」を実施した。「図書選定会議」は原則として毎月 2 回、合計で 21 回開催した。全国学校図書館協議会（以下、「全国 S LA」という）が委嘱する選定委員が学校図書館向き図書を「全国学校図書館協議会選定図書」として選定した。その結果は機関紙『学校図書館速報版』で隨時発表した。

イ 読書調査

1. 「学校読書調査」の実施 ………………【調査部】…(2)

青少年の読書推進や読書環境整備等に資するため、読んだ本の量、読んだ本の題名、読書生活などの実態を調べる調査を 2024 年 6 月に実施した。

2. 「学校図書館調査」の実施 ………………【調査部】…(2)

学校図書館の整備充実を図るため、学校図書館の蔵書、予算、職員、運営等の実態を調べる調査を実施した。

3. 市区町村における学校図書館図書整備費予算化の実態調査の実施……………【調査部】…(2)

全国の市区町村教育委員会に対して、学校図書館図書の整備費 480 億円を予算化するよう要請するとともに、各自治体に対する予算化状況のアンケートを学校図書館整備推進会議と共に実施した。

ウ 機関誌発行

1. 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の刊行……………【編集部】…(5)

機関誌『学校図書館』（月刊）および『学校図書館速報版』（月 2 回）を定期的に刊行した。『学校図書館』は、学校図書館や青少年の読書に関する実践や研究論文等を中心に掲載、機関紙『学校図書館速報版』は、本会選定図書および学校図書館や読書、学校図書館メディアに関する情報等を中心に掲載した。

エ 各種コンクール

1. 青少年読書感想文全国コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)

読書の習慣化を図り、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的とした「第 70 回・第 71 回青少年読書感想文全国コンクール」を毎日新聞社と共に（サントリーホールディングス株式会社協賛）で実施。第 70 回表彰式は、2025 年 2 月 6 日に秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお招きして経団連会館で開催した。

① 「青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」

全国 S LA が委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「課題図書」として、「第 71 回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」を選定した。

2. 読書感想画中央コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)

読書の感動を絵画表現することで読書力や表現力を養うことなどを目的とした「第 36 回読書感想画中央コンクール」を毎日新聞社と共に（TOPPAN ホールディングス株式会社協賛・株式会社竹中工務店特別協力）で、山口県・九州地区を除く 38 都道府県で実施。第 36 回表彰式は 2025 年 2 月 28 日に如水会館で開催した。

① 「読書感想画中央コンクール 指定図書」

全国 S LA が委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「指定図書」として、「第 37 回読書感想画中央コンクール 指定図書」を選定した。

オ 優良図書の普及

1. 「日本絵本賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)

絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与することを目的に授賞。「第30回日本絵本賞」（一般社団法人松岡マジック・ブック・ヘリテージ協賛、読売新聞社・中央公論社特別協力）は、日本絵本賞大賞1点、日本絵本賞2点、日本絵本賞翻訳絵本賞1点を授賞した。

2. 「えほん50」の選定……………【プロジェクト】…(1)
全国SLA絵本委員により、「2025 えほん50」を選定し、リーフレットを作成して周知を図った。
3. 「絵本週間」の実施……………【プロジェクト】…(1)
優れた絵本文化の発展と、学校や家庭への絵本読書の定着を目指して「第48回絵本週間」を実施した。
4. 「夏休みの本(緑陰図書)」の選定……………【プロジェクト】…(1)
全国SLAが委嘱する選定委員により、夏休み中に子どもたちに読んでほしい図書として、「第58回夏休みの本(緑陰図書)」40点を選定した。
5. 詩のあん唱運動の実施……………【プロジェクト】…(1)
読書活動の一環として詩のあん唱運動を実施し、その普及のため、第5回「詩のあん唱」コンクール(SOLASIDO)を開催。今回をもって事業を終了した。

カ SLBAの図書の選定

1. 「学校図書館図書整備協会(SLBA)選定図書」……………【プロジェクト】…(1)
学校図書館の蔵書整備等を目的とした「一般社団法人学校図書館図書整備協会(以下「SLBA」という)」の委嘱を受け、全国SLAの選定委員が「SLBA選定図書」を選定した。

キ 学校図書館出版賞

1. 「学校図書館賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
学校図書館に関する運動、論文、実践の3分野での優れた実績を示した個人および団体に対し顕彰を行う。「第55回学校図書館賞」は、論文の部で「学校図書館賞」1名、実践の部で「学校図書館賞奨励賞」1名の授賞を決めた。
2. 「学校図書館出版賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
学校図書館向き図書の出版を充実させることを目的に、優良な出版企画に対して出版社を表彰する。「第27回学校図書館出版賞」は「学校図書館出版賞」3点、「学校図書館出版賞特別賞」1点の授賞を決めた。

公2 学校図書館を充実発展するための活動の普及及び啓発事業

《1. 研究・研修》

1. 学校図書館担当職員のためのスキルアップ及びリカレント教育の実施……………【研究調査部】…(1)
司書教諭や学校司書等を対象とした「学校図書館実践講座」、指導主事を対象とした「指導主事研修会」を開催。学校図書館の活用による授業実践報告を顕彰する「第5回情報活用授業コンクール」を開催した。
2. 「学校図書館セミナー」の開催……………【研究調査部】…(2)
図書館総合展の主催・共催フォーラムとして、学校図書館に関するセミナーを開催した。
3. 学校司書資格及び研修制度の研究……………【プロジェクト】…(2)
学校司書の法制化に対応して、資質の向上を図るために研修制度のあり方に関する研究成果を公表する。また、学校司書を対象とした「学校司書研修講座」をオンラインで開催。
- ☆ 4. 「全国学校図書館研究大会」の開催……………【プロジェクト】…(2)
隔年で開催している全国学校図書館研究大会(高松大会)を8月8日、9日に開催した。

《2. 資料・情報提供》

1. 写真ニュース『としょかん通信』の刊行……………【編集部】…(5)
学校図書館や読書に関する情報および学校図書館の利用に役立つ情報を掲示用写真ニュースとして、月刊『としょかん通信』(小学生版・中高校生版の2種)を刊行した。

2. 各県S LAのWebサイト作成……………【プロジェクト】…(3)
全国S LAのWebサイト上に各県S LAのWebサイトを開設し、県S LAの情報提供、研究会・研修会の募集、県S LA組織内の連絡等の利用に供した。
3. 各県S LA・各地区S LAへの訪問の実施……………【プロジェクト】…(3)
組織訪問を通して、都道府県の現状を把握し改善のための支援策を講じた。
4. 各県S LA作成の刊行物の監修・作成協力等の実施……………【プロジェクト】…(3)
刊行物の監修・作成協力等により内容の充実と刊行物の普及に努めた。
5. Webサイトメールマガジンの活用……………【プロジェクト】…(5)
各県S LAおよび会員へ速やかな情報配信のためにメールマガジンによる情報発信を活用した。
6. 啓発図書の刊行……………【編集部】…(5)
 - ① 『その蔵書、使えますか』改訂版の刊行・普及。
学校図書館入門シリーズ第3巻『その蔵書、使えますか』を改訂、刊行できなかった。
 - ② 『気になる著作権Q&A』改訂版の刊行・普及。
学校図書館入門シリーズ第8巻『気になる著作権Q&A』増補改訂版は刊行に至らなかった。
 - ③ 『みんなで学ぼう学校教育と著作権』改訂版の刊行・普及。
『みんなで学ぼう学校教育と著作権』を改訂して、増補改訂版を刊行・普及した。
 - ④ 『確かめながら学校図書館と1人1台端末ひろがる！つながる！学校図書館』の普及。
『確かめながら学校図書館と1人1台端末ひろがる！つながる！学校図書館』を普及した。

《3. 学校図書館の充実発展》

1. 学校図書館振興の政策提言の推進……………【プロジェクト】…(6)
第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」による予算化運動及び、高等学校の図書整備施策策定に向けて活動を展開した。
2. 基準類の検討及び改訂・普及……………【プロジェクト】…(6)
発表した基準類の見直し、検討を行い、改訂した。
3. 機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及……………【プロジェクト】…(3)
学校図書館に関する研究を深めるため、各県S LA等の協力を得て、機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及活動を行った。
4. 各県S LA事務局長会議の開催……………【プロジェクト】…(3)
全国S LAの事業、組織、活動について連絡調整を図るため各県S LA事務局長会議を開催した。
5. 全国S LA研究協力員制度の検討及び委嘱……………【プロジェクト】…(3)
全国S LAが行う研究活動や研究成果の普及を図る「全国S LA研究協力員制度」について検討し、各県S LAから研究、実践に熱心な教職員の推薦を受けて委嘱するが、実現しなかった。
6. 各県S LAへの研究助成……………【プロジェクト】…(3)
各県S LAの研究活動を支援するために研究助成を行った。

《4. 研究視察》

1. 国内・海外学校図書館研究視察……………【プロジェクト】…(3)
ベストワールド主催による台湾及びデンマークの海外学校図書館視察の催行に協力した。

《5. 事業の活性化》

1. 全国S LA学校図書館スーパーバイザーの拡充……………【プロジェクト】…(1)
全国S LA学校図書館スーパーバイザーによる指導・助言により各地域や各校の学校図書館の活性化を図った。
2. 公益社団法人の財政再建……………【プロジェクト】…(6)
新事業の展開と赤字事業の削減等により、公益社団法人として財政再建の基盤整備を進めた。
3. 学校図書館報告会の開催……………【プロジェクト】…(6)
特別会員を招き、教育や学校図書館、情報メディアなどに関する報告会は開催できなかった。